



第2回は“『ICT』砂防工事でもやっています！”

第1回8月の勉強会(砂防堰堤の施工(コンクリート、INSEM工法))に続き、第2回は『ICT』を題材に、管内工事現場にてICTを活用している現場で勉強会を開催しました。

砂防堰堤の現場は、「急峻な地形」や「電波状況が厳しい」、「構造が複雑で難しそう」といったイメージがあるかと思いますが、現場で導入活用している施工業者へ確認したところ、『大丈夫ですよ！それだったらうちの現場に来て、勉強会の場所に使って下さい！』と現場提供を頂いた事で、呉市天応地区の大屋大川溪流現場で開催しました。

現場は「安芸南部山系大屋大川溪流管理用道路工事(大之木建設):管理用道路工事で活用」、「安芸南部山系大屋大川支川溪流砂防堰堤第2工事(増岡組):溪流保全工床固工で活用」しており、それぞれ現場条件・工事内容の異なる場所にて、どのように活用されているかをICTデータ、活用状況、施工機器・建機を実際に見て感じて頂きました。

その後の意見交換会は、コロナ対策で青空の下で輪になり、「現場の感想、現場で困っている事」等の意見交換を行いました。



“これからの建設業界を担う若手技術者”

【安芸南部山系大屋大川溪流管理用道路工事:大之木建設(株)】



管理用道路

この部分
3次元
データ

工事施工状況



現場担当技術者
自らが現場説明
『緊張した～!』



管理用道路での活用状況



実際に操縦席に座り、メーカーより操作説明

【安芸南部山系大屋大川支川溪流砂防堰堤第2工事:(株)増岡組】



砂防堰堤

垂直壁

工事施工状況



垂直壁直下で活用

砂防堰堤直下の溪流保全工の掘削で使用



UAV測量にて計測した3次元現況データに設計データを合体

【意見交換会】



※意見交換の内容の
一部を紹介します。



コロナ対策で青空の下で輪になり意見交換

【感想】

- ・他の現場を見学する機会が無いので良かった。
- ・見学した両現場共にICTを積極的に取り込まれており、見学ができて良かった。
- ・次の現場で活かしたい。

【質疑】

- ・重機のメーカーによる違いはありますか？
- ・ブレーカー付きのバックホウでもICT施工は可能ですか？
- ・ICT施工のデメリットはありますか？

○最後に現場多忙の中、担当者を送り出して頂き、また現場を提供して頂き、ありがとうございました。